



6/20 更生保護の分野で
法務大臣から感謝状

大谷津征子さん(芳志戸)が、犯罪の非行や防止など更生保護と温かな地域づくりに尽力されたとして法務大臣から感謝状を受けました。約30年にわたり、更生保護女性会に所属し、子育て支援や地域づくりにおいて、更生保護理解促進に尽力してきたことが認められたものです。



9/14 芳賀中学校で
はがまるふるさと大学開校式

はがまるふるさと大学とは、学校と行政と地域が一体となり、町の将来を担う生徒を育成する取り組みのことで、芳賀中学校と役場をオンラインでつなぎ、学長である見目町長の講話がありました。今後、町を知るための町職員等による基礎講座や職場体験学習などが行われます。



9/18 町 B & G 海洋センター
海ゴミゼロフェスティバル

海ゴミゼロフェスティバルとは、B&G財団が行う未来にきれいな海を残すための海洋ゴミ削減に向けたプロジェクトのことで、真岡市出身の世界選手権大会バタフライ銀メダリスト水沼尚輝選手が町B&G海洋センターに会場、海洋ゴミに関する講話の後、水泳の模範演技を披露しました。



9/21 明治安田生命保険相互会社から
健康づくりに向けた寄附金贈呈

町と包括連携協定を結ぶ明治安田生命保険相互会社から町へ「私の地元応援基金」として404,000円が寄附されました。寄附金は、健康増進に関する町の事業などに使用されます。



9/21~30 秋の交通安全県民総ぐるみ運動

下原新町東芳賀バイパス沿道、道の駅はが入口、西水沼交差点北の町内主要の交差点で、交通安全運動街頭広報が行われました。交通安全協会各支部の皆さんや町内駐在所役員が中心となり、スピード注意やシートベルト着用などのプレート掲げ、交通安全を呼び掛けました。



9/22 自治会連合会と町執行部との
地域課題検討会

町農業者トレーニングセンターで地域課題検討会が行われました。自治会連合会と町執行部との懇談会として開催されていたものを改称して行われたもので、相互連携を深めるために毎年開催されています。安全安心なまちづくり、LRTの利用促進について、活発な意見交換が行われました。

はがの文芸

町文化協会では短歌・俳句・川柳の各種講座を開催しています。詳細は町民会館まで
☎028(677)0009

短歌 「芳賀短歌会」

頑なに農に励んだ夫は亡き
実り間近な稲穂に惚ぶ
山本 妙子(上延生)

老いは先ず齒と目に次いで腰に来て
夫婦共々嘆き合うなり
鈴木 みき(東高橋)

俳句 「町民俳句講座」

廃校の本扉の香り深へり
稲川 清子(与能)

はらからの集合写真秋日和
大村 かし子(下高根沢)

川柳 「お楽しみ川柳」

解禁かスイーツが顔を出す
山本 美枝子(稲毛田)

何もかも諦めてみて楽になり
大谷津 眞記子(芳志戸)

きりさめと言いつつ屋外の農作業
出来ずに暫し書物を開く
荷見 泰一(芳志戸)

蟬の声聞きつつ行けば山間に
赤の水引草今年も咲けり
岡田 ツヤ子(西水沼)

切り株を土に鋤き込み田を仕舞ふ
福武 幸子(下延生)

メロン買ふ茨城弁の強き店
阿久津 勝利(宇都宮市)

八十半餓鬼に戻ってクラス会
小林 正孝(祖母井)

政治家は選挙が無いと動かない
石川 文治(市貝町)

※「お楽しみ川柳」参加者

あなたの声を聞かせてね！
お便り待ってます！
●身近な出来事や町に関する要望・意見

芳賀町文化協会会長
駿河富夫さん(稲毛田)からの投稿
瀬戸内寂聴さんの著作を読んで
寂聴さんは、若さの秘訣に“心にわだかまりを持たないこと”、つまり、くよくよしないことを挙げたそうです。毎日、腹の立つことなどはいっぱいあるのだから、昔のことや済んだことは忘れる。そう決めたら気持ち楽になったとのことでした。
なるほど、と感心しました。幸せとは自分で作り上げることですね。皆さんはいかがでしょう。



高松イクさん(下高根沢)



吉永サツキさん(稲毛田)

高松イクさん(下高根沢)からの投稿
脳の健康教室「かんばる脳〜」が町民会館で行われ、芳賀赤十字病院の理学療法士の先生による認知症予防の講話と体験指導がありました。生活習慣・日常生活のリズムを整えること、考えながら動くこと、転ばないことなど、当たり前のことが認知症予防につながるそうです。2つの事が同時にできなくなることが認知症の始まりとのことでした。実際に聞いて体験して、大変勉強になりました。
「予防には 生活リズム 整える」



鈴木モコさん(西高橋)

税
人材募集
お知らせ
イベント講座
健康
子育て
相談
タウンレポート
文芸・お便り